



社団法人
日本サウナ協会

SAUNA

7月/216号

発行所 社団法人日本サウナ協会
〒東京 03(5275)1541(直)
FAX 03(5275)1543
〒102 東京都千代田区六番町1
(番町1番館ビル2F)

第11回
国際サウナ会議

17か国200名が参加

日本代表がシンポジウムで講演！ (ヘルシンキで)



シンポジウム2日目。「サウナ療法の新しい臨床応用について」講演される鹿児島大学 鄭忠和先生

四年ごとの国際サウナ会議。その第11回会議が「あなよ 健康と幸福のためのサウナ」をメインテーマに掲げ六月十三日、十五日、サウナの本場フィンランドの首都ヘルシンキで開催された。社団法人日本サウナ協会は中野佳則理事を団長に二十名を派遣。シンポジウムで、山田淳雄副会長が「日本の風呂の歴史について」をテーマに、鹿児島大学・鄭忠和先生が日本協会を代表して「サウナ療法の新しい臨床応用」をテーマにそれぞれ講演を行うなど、サウナに関する文化と学術、将来展望など様々な情報を、国際交流のなかで吸収し大きな成果を収めた。(2、3面に関連記事)

ハナサリ文化センターは海に突き出た地形で、白樺なかにあつて心憎いほどマッチしている。会議が行われるメインホールは扇形の二百席で、木目も新しい舞台とテーブル、いすがシンプルでデザインにまとまっている。

十七か国から代表百五十名、同僚ご夫人、それにマスコミ関係三十



写真上は会議場。下は最終日に開催された出席国代表者会議。上段右から2人目山田副会長、同3人目フィンランド協会長。下段左から2人目エイサロ前国際協会会長。

十四日午前。シンポジウム2日目は、日本協会を代表して鄭忠和先生が「サウナ療法の新しい臨床応用」について講演。数々のデータと映像をレーザーペンで指しながらの熱のこもった発表が終わると質問が殺到。ランタイムに二十分余りずれ込むほどだった。

山田副会長の講演は同日午後。講演の前に日本協会を代表してあいさつ(要旨は2面)を行い、前記のテーマで日本協会が今回のために制作した八十枚のスライドを映し、米田麻希さんの英語通訳により日本民族が千四百年前から、どのようにして保健衛生とレクリエーションを目的に温浴していたかを紹介した。質疑が続出して時間オーバーになった。

シンポジウムは第一部歴史と民族/第二部医学的研究/第三部サウナ構造の研究/第四部サウナとスポーツの四部構成からなり

日本代表に話題集まる

余名が取材を展開、わざわざ総勢二百名を超える盛況である。スペイン、アメリカ、ロシアが初参加。日本代表はひな壇のなかほどに席を占める。参加者のなかには三年前の京都会議での旧知の顔も見える。

2・3面・国際会議特集/サウナツアー報告① 4・5面・暑中見舞い 6面・サウナでストレッチング体操/北海道支部総会 7面・韓国あかすり体験記-石川直樹/「私とサウナ」植田理彦 8面・中部カラオケ予選大会/全面改装ウェルビー名駅前

For Beautiful Human Life

アフタータイムを演出する、爽やかなインプレッション。

芸術化産業をめざす
Kanebo
FOR PROFESSIONAL



新鮮なシトラスフローラルの香りが、使用后すばやく消えて、あとには爽やかな印象だけが残ります。洗練されたナチュラル指向、「ヴェクトゥール」シリーズ。

カネボウ 新メンズコスメチック
VECTEUR
極微香・残香性ゼロ



カネボウヴェクトゥール
全13アイテム 価格1,500~3,000円(税抜)

第12回はドイツで開催！(予定)

出席国代表者会議で議案諮る

国際会議の三日目、十五日は午前中までシンポジウムが続いた。フィンランド協会の重鎮ユニハ・ペラサ

う言葉で第11回会議の幕を閉じた。引き続き、出席国代表者会議が開かれ、エイサロ国際協会会長があいさつ、議長に前記のペラサロ博士を選んで、役員選出、評議員指名、拠出金の改正、次期会議の開催について協議が行われた。詳細は国際協会の公式文書の到着を待つて発表します。

山田副会長あいさつ

初参加は20年前の第6回

日本サウナ協会を代表して、ごあいさつ申し上げます。まず、前回の京都会議には世界各国より多数の参加と、サウナについて数多い新しい知識を提供ください、意義深い感銘を受けました。

二十年前の一九七四年八月、このヘルシンキで開催された第六回会議に、日本が初めて参加、そのときの代表は佐藤国男氏でした。氏は今回の参加を楽しみにされていましたが、昨年十一月に亡くなりました。本

日はその遺影を抱いて、ご子息の佐藤有宏氏が参加しています。

日本サウナ協会は、主としてサウナ施設オーナーと学術経験者で構成、中野幸夫会長のもと、社会奉仕活動を広く行いながら、サウナの普及に努力しております。

今回は二十名が参加、中野会長のご子息中野佳則氏が団長を務めています。この会議で発表される豊富な知識を何よりの土産にした

『日本の風呂の歴史』

スライド80枚と通訳で発表

シンポジウムⅠ「世界のサウナ」



通訳する米田麻希さん

山田淳雄副会長が行った「日本の風呂の歴史について」の講演要旨は――

東大寺の大湯屋の図面や江戸の町湯など紹介

第11回国際サウナ会議のシンポジウムでは日本サウナ協会が今回のために制作したスライドを駆使して視聴覚の両面から分かりやすく説明したことが、聴衆の理解を深め興味をひきつけた。また、これにより大いに日本サウナ協会の存在感を高めることができたと言えよう。

東大寺の大湯屋の図面や江戸の町湯など紹介

「魏志倭人伝」に記述されている祇(みそぎ)の由来から説きはじめ、自然に湧出する温泉の利用から、人工的に温浴した釜風呂、石風呂の紹介。仏教伝来で木造建築物のなかでの温浴、アたつぷりに歌ったり、なかなかヨーロッパ風だなど思いました。また、前日のフィンランドサウナ協会の歓迎会でも、フィンランドの民族衣装をつけた若者たちの伝統音楽の演奏があった

奈良・法隆寺に残る「天平勘録法隆寺資材帳」の天平十九年(七四七年)の記録や正倉院文書による温浴思想の普及、続く中世に盛隆した湯屋の構造を、奈良・東大寺の大湯屋の建築図面を掲げて説明。

絵巻物からも同様に説明するとともに、日本最古医学書の一節にも言及するなど古代中世の歴史ダイジェストは、ますます聴衆をひきつける。近世発達した都市、京都、江戸の町湯、風呂屋を描いた屏風図や浮世絵二十枚を紹介、町湯の施設数も明らかにして、当時の日本における都市生活の

一端を披露した。また、その情景を見た海外からの渡来人たちの記述に触れ、現在ブームの一つである「塩サウナ」や鹿児島大学での医療現場を映し出しながら二十一世紀に向けて前進する日本のサウナ事情を事細

かく説明した。

講演後にはテレビ、新聞の取材を受け、参加者からも日本の事情を聞かれるなど、まさに日本サウナ協会が当日の話題を奪った感じだった。

二十五分でした。日本語から英語にその都度通訳する

広い世界が見えたサウナ国際会議

通訳 米田 麻希

フィンランド・ヘルシンキで六月十三日から十五日に開催された第11回国際サウナ会議に、日本サウナ協会を代表して副会長の山田淳雄さんと鄭忠和さんが講演者として参加され、私も山田さんの講演の通訳として参加する機会を頂きました。

国際会議で使われた言語は英語とドイツ語で、講演者の持ち時間は参加者からの質疑応答の時間を含めて

には二十五分では足りませんので、あらかじめ翻訳しておいた英文の原稿を読むという形で行いました。

フィンランドでのサウナ会議の演出は、サウナをアカペラのコーラスでユーモ

たり、フィンランドならではの演出だと思えました。

十三日に行われたシンポジウムのテーマは「世界のサウナ」で、今回の山田さんの講演内容は「日本における風呂の形式と習慣」で

山田さんの用意した八十枚のスライドと説明に参加者はとても興味を示していました。講演の後の質問に「日本では今でも男女混浴はあるのか」「スポーツ仲間同士の男女でサウナに一緒

に入ったりしないのか」などがありました。

他の講演者の発表を見ていて感じたことは、皆自分の国で作られたものに誇りをもち、また、その国の言葉と文化を大切にしているという形にしました。

今回、山田さんからは本当にたくさんのことを教えて頂きました。国際会議の後のウインターガーデンでのレセプションの時、ニューヨークから来たという雑誌の記者が私に「彼は学者ですか？」と尋ねたように、山田さんのお風呂を中心とする知識および他の分野に関する研究は、学者と呼ぶ

ご存知ですか？

その第一は形。新たに取手をつけて持ちやすく、使いやすくなりました。メンテナンス時の取り扱いは手軽にした「ニューフォルム」です。

第二は、色。新たにラミネートしたボールの輝きがひとさわやかで体感の好イメージを発信し、売店への注目度を高めることと致し。

そして第三が、低刺激性のリンス&シャンプーの登場。洗いがかりのサラサラ感をアップすると同時に、目に入っても痛くない安全性を高めた安心商品です。

人にやさしくの気持ちを大切に、みなさまの経営活性化を応援いたします。



体感販売で経営活性化——お気軽にお問い合わせ下さい。浴室・浴場での使用体験と売店の販売を結んだ体感販売で業務用経費を大幅に低減いたします。

リールは取手つき!

株式会社 746化学
〒453 名古屋市東区中村町390番地
TEL(052)471-1111 FAX(052)471-1112

おもてなしにふさわしい。オリジナルチャイナシリーズ(洗面化粧台用)

全旅連協定商社会員 全旅連青年部推奨メーカー 社団法人日本温泉協会特別会員

本場フィンランドのサウナの入り方

(社)日本サウナ協会理事 中野 佳則

このたび「国際サウナ会議」がフィンランドのヘルシンキで開催されるに当たり、サウナ協会主催のヨーロッパツアーが久しぶりに企画されました。今回のツアーで得た経験をもとに、フィンランドのサウナについてご紹介して参ります。



ムーラメのサウナ村でスモークサウナを体験

フィンランドのサウナの特徴は、何と云ってもロウリュを浴びることです。ロウリュというのは、サウナ室の中でひしゃくで熱源に水をかけて出す「蒸気」のことです。サウナ室の中には必ず水の入った桶があり、熱源の近くにいる人が水のかけ役です。

サウナの中にはパンツをはいて入ってはいけません。何も持たずに入ります。水をいっぱい使いますから、ベンチも床もいつも水で濡れています。したがって、ドイツと違って、ベンチにタオルを敷く必要もありません。素っ裸で入ります。

ヘルシンキ市内の場末のコテイハルユという個人営業のサウナに入ってみました。モルタルづくりのベンチが六段もあり、全員が最上段に座って冷水のバケツを傍らに置き、その水を頭にかけて入っています。

ムーラメで体をたたき合う

ムーラメのサウナ村に行つたとき、私たちは運よく古いスモークサウナに実際に火を入れて体験入浴することができました。ここではサウナ村の副村長さんが一緒にサウナに入って、入浴法を教えてくださいました。

サウナ室内にはロウリュを出したりビヒタを濡らすための小型の桶のほかに、扉のあたりに大きな桶を置いて、そこにお湯を入れてお

き、出入りするときにそのお湯で体を洗うのです。当然、床もベンチもビヒタビヒタに濡れてしまっています。もっとも現代はサウナ室内で体を洗うことは禁忌のようですが、こうした伝統から、フィンランドのサウナはいつも室内が濡れるので、ベンチをタイル張りで作っているところが少なくありません。木でなければならぬとするドイツやオランダの考えよりも柔軟な発想であると驚きました。

こうした習慣から、フィンランドのサウナはとくに業務用の場合はベンチのみならず壁までもモルタルやタイル張りになっているケースが少なくありません。

ベンチの場合はお尻が熱いので、普通は木製のスノコが敷かれています。ところによってはお尻に敷くペーパーを、ちようどキッチンペーパータイルのロールのようにして設置しているところや個人用の尻敷きスノコが用意してあって、使うたびに客が自分でそれを洗っている光景にも触れました。

サウナはなぜ

フィンランドで広まり定着したのが

誰かがフィンランド人のガイドに尋ねました。「なぜフィンランドでサウナが広まり定着したのか？」これは単純な質問ですがとても良い質問でした。彼はこう答えました。「湖が多いから」と。実際にフィンランドに身を置いていた私たちには、とてもよくわかるような気がしました。

逆にガイドから「フィンランドには一体いくつの湖があると思うか」と尋ねられたら、誰もが驚かされるほどです。フィンランドの約四分の一が湖や湖沼で覆われています。その湖沼に作り出されたという丸太づくりの коттеーシがあり、湖岸に面したベランダ、五人で入れる程度のサウナとシャワー、トイレ、暖炉のあるくつろげるラウンジとそれに付帯する小さなキッチンで構成されています。サウナストロブは木炭をくべるタイプです。湖には木で作った棧橋が突き出していて、そこから湖に飛び込んだり、湖水の上をわたる爽やかな風を浴びた体をさらしたりして過ごすので

切って体験しました。そして、なぜフィンランドにサウナが広まり定着したのか、フィンランドの人々は質素ではあるが、どうして豊かな人生を感じる事ができるのか、といったことを自分の体で理解することができたように思います。

今回の旅を通じて、私は「サウナとは本来湖岸にあるべきものだ」と強く認識したのです。

Suomalaista saunaa halutaan markkinoida stressilääkkeenä Japanilaisten saunomisinto kasvaa jatkuvasti

VIRPI MELLERI
Helsingin Sanomat

”Suomalaisten on lähes mahdoton puhua saunasta. Saunasta puhuminen on samaa kuin yrittäisi selittää mikä on äiti tai isänmaa. Sauna on suomalaisen ihmisen elämää, sauna on suomalaisen tajuntaa.”

Näin juhlavasti avasi opetusministerin kansliapäällikkö Jaakko Numminen kansainvälisen saunakongressin Espoon Hanasaaressa. Kongressiin on kokoontunut 150 saunamatkustajaa ja saunan ystäviä 14 eri maasta. Suomen saunaseuran puheenjohtaja Lasse Viinikka toivoo, että kongressi edesauttaa saunan leviämistä maailmalla. Hänen mukaansa saunaa voisi markkinoida terveellisenä stressinpoistolääkkeenä.

Kongressi saa paljon julkisuutta ulkomaisissa tiedotusvälineissä, ja yksi sen tärkeistä tehtävistä on vähentää saunaan liittyviä pelkoja ja väärä uskomuksia”, Viinikka kiteyttää.

Sukupuolittautit eivät saunassa tartu

Juhani Ojajärvi Helsingin yliopiston kansanterveystieteen laitokselta huomauttaa, että ihmiset pelkäävät aivan turhaan saunassa tartuvia tautia.



Lasse Viinikka ja Atsuo Yamada virittävyytensä tunnelmaan piipahdella saunanäytelyssä.

kuin nostaa sitä. Eniten saunomisen rasittaa sydäntä, mutta sitäkin kohtuullinen saunominen ei kuormita kohtuuttomasti.

”Mutta suomalainen ruletti – kuuma sauna, runsaasti alkoholia ja suoraan avontoon – on vaarallista peliä”, Vuori varoittaa.

Japanissa lölyt maksavat sata markkaa

kuin nostaa sitä. Eniten saunomisen rasittaa sydäntä, mutta sitäkin kohtuullinen saunominen ei kuormita kohtuuttomasti.

国際会議の様相や関連記事をフィンランドの全国紙である「ヘルシンキ・サノマティ」が六月十二日、同十五日に掲載。その十五日のインタビュー記事をいく

つか紹介する。▽ヤクノミネン氏(教育者)で英語と瞑想の権威者)フィンランドサウナはストレスのための薬のようなもの。サウナはフィンランド人の母心です。

▽ラス・ヴィニカ氏(フィンランド協会会長)会議の意義は、フィンランドサウナを世界の人々に教え、正しいサウナの知識

を広げたい。▽ヨハネ・オヤギルビー氏(ヘルシンキの医師)サウナから病気になることはない。ただ例外は足の水虫ですから、それを予防したら安全です。

▽イルカ・ウオリ氏(ヘルシンキ大学教授)老人も病人もサウナに入ることはよいことで血圧を下げる効果があります。ただフィンランドサウナは少々熱い、熱いサウナから冷水に飛び込むのは危険だし、飲酒の後も危険です。

▽山田淳雄氏(日本協会副会長)日本のサウナはフィンランドのそれに似ています。日本ではサウナを常用しているのは中高年の都市生活者で、サウナ人口は毎年増えています。

フィンランド全国紙のインタビュー記事

写真はフィンランド協会ラス・ヴィニカ会長と話をする山田副会長

日本のサウナはフィンランドのそれに似ています。日本ではサウナを常用しているのは中高年の都市生活者で、サウナ人口は毎年増えています。



海辺でのじゅうたん洗い。まるめたじゅうたんを車で運び込み、家族で楽しく洗たくする。フィンランドの海水はそんなに塩からくない。

私たちがその小屋を借り

お便り
ください

会員各位のコミュニケーションの場として「SAUNA」の紙面を生活用ください。会社の行事や人事異動、レクリエーション、同好会活動など何でも歓迎します。

(社)日本サウナ協会
SAUNA係

プロフェッショナルの店の喜びが私の励みです。

サウナで手足を伸ばして… ストレッチング体操

女性インストラクター

5人がはつらつと活躍

ニュージャパン観光(大阪)

「…つぎは肩をほぐしましょう。両肩を軽くアップダウンして…。はい、つぎは両腕をまっすぐ前へのばして…。サウナ浴室で毎日、決まった時間に行われているサウナ・ストレッチング体操がなかなか好評。これを楽しみのお客さん多いようだ。ここ、大阪・道

頓堀のニュージャパンビル(ニュージャパン観光)にある「サウナ・カバーナ」「スパ・プラザ」「レディス・サウナ」の三店でのことである。

ストレッチングとは全身の筋肉と関節を伸張する体操。これを、サウナに適した、ゆるやかな形にアレンジして取り入れたもので、始めてからすでに六年くらいの実績になるといえる。現在は先輩から受け継いだ三輪ゆかり、高田啓子、貝田朋子、高塚久美子、田中メイコの五人の女性インストラクターがはつらつと活躍している。



ちなみに、三輪さんはエアロビクスから、高田さんはクラシックバレエとジャズダンスから、貝田さんはキカイ体操から、高塚さんと田中さんはジャズダンスから、それぞれ自分の特技



今回は特にフルメンバーで登場してもらう



インストラクターの動作とかけ声に合わせて

ゆるやかな形にアレンジ

どのように行われているのか、カバーナでの様子を見ると、レオタード姿のインストラクターを中心にお客さまが半円形を描いて集まる。体操は床に足を投げ出した姿勢ですわり、インストラクターの演技と掛け声に合わせて、ゆっくりしたりリズムで進められる。まず、首を前後に、左右に倒したり、ぐるぐると回したり。続いて肩、腕、胸、脇腹から足首まで順次ほぐしつつ下がって、仕上げは腰の体操になる。派手なアクションはないが十五分のコースが終わると、皆さん汗だくの状態だ。配られたぬれタオルで一斉に顔や体を

ぬぐい、冷たい水をのどに流しこむ。これが爽快だといふ。ところで、この体操には三つのコースがあり、時間帯と日によって組み合わせを変えているので、毎回、その内容が異なることになる。インストラクターを代表して三輪さんは「あまり難しくしないで、だれでも楽しく参加できるように工夫しています。サウナで体を温めてからだと動きがよろしいし、最初は体が固い方も、回を重ねるうちに段階とよく曲がるようになりますね。ただ、個人差がありますから無理をしないように」と、つねに声をかけて

います。ここで要領をおぼえて、自宅でふろ上がりに心掛けて頂ければ健康増進に役立つと思います。毎日つづけることが大事ですね」とその効用を話す。参加した年配の方は「これが目当てです。おかげで体がよく動くようになりました」。中年の方は「真剣にやれば結構きつい目の体操ですね。汗がよく出ます」という感想だった。

健康センター「湯」とびあ宝(名古屋市南区前浜通一―九、タカラグループ)の隣接地に八月四日から「名古屋・笠寺ワシントンホテル」がオープンする。同グループの経営で金山ワシントンホテルの姉妹店になる。十階建て、客室百八十は、いずれもゆつたり設計、ベッドはすべて

笠寺ワシントンホテル開店

宿泊客に入泉無料サービス

Wサイズ。宿泊客には健康センターを入泉無料で利用できるサービスがある。JR東海道本線の名古屋駅から笠寺駅まで十分、同駅から徒歩五分(送迎バスあり)という至便さ。目印は名古屋市立総合体育館の南隣。電話052(612)0001

終われば皆さん汗だく

設のヘルスクラブ会員も共通利用しているからだ。ところがスパとレディスでは高温サウナを使うので、それに適したように時間を短縮しているわけである。カバーナ店長・六本(ろくもと)さんは「体操により気分転換でき、楽しく体を動かすことで心身ともにリラックスできるとお客さまに喜ばれています。時間前に待機している方も結構います。レディスの方が興味を示されるようです」と人気のほどを話す。



北海道支部平成六年度総会

勉強会の必要性を強調(中村会長)

事業案、予算案など承認

北海道支部総会は六月二十八日午後四時から札幌市内の後楽園飯店で開催。本部協会より五味専務理事を迎え、会員ら十五名(賛助会員を含む)が参加した。中村会長のあいさつに始まり、五味専務理事より全国的視野からのサウナ業界の現状報告があり、とくに環境衛生金融公庫の融資、水道料金などについて近い将来に明るさが期待され、

会員の皆さんは大変意を強くした。佐藤議長のもとに議事が進められ、平成五年度事業報告、同収支決算報告、監査報告、平成六年度の事業案、予算案が審議、承認された。新年度事業について中村会長から北海道支部としての勉強会(学習、研修)の必要性を強く説かれ、とくに「経済の低迷がつづくなか、サウナ業の各社、各店において効率的な経営を進めるためのマネジメントのあり方をくわしく調べ、見直し、改善しなければならぬ。このようなマネジメントのできる幹部の育成が重要であります」と強調された。この勉強会について会員各自の意見もそれぞれ述べられ、さらに

五味専務理事より先進的支部として関西、愛知県両支部での勉強会の現状が説明された。こうした経過の中で、北海道支部としてどのような形で進めればよいかを検討する準備会を発足することになり、次の方が選出(敬称略)された。清水 渥(ニューサウナ) 大西正夫(サウナ北歐) 中村恵一(札幌テルメ) 事務局担当者 総会終了後、厚生年金基金についての二回目の勉強会をもち、住友信託銀行の森沢次長、西村課長からスライドによる説明をうけ理解を深めた。なお、懇親会では午前中に後楽園CCで開催された親睦ゴルフ大会の表彰(優勝・鈴木俊之氏)もあり、和やかに懇親を深め終了した。(小比賀・記)



写真は総会開会のあいさつで勉強会の必要性を訴える中村会長

『第1回中部カラオケ大会』予選競演進む

第一回中部カラオケ大会のグランプリをめざして健康ランドでの予選大会が盛り上がりつつある。社団法人日本サウナ協会愛知県支部が主催する初のビッグタイトルであり、岡崎健康ランド、東洋健康ランド、バーデンバーデン、湯とぴあ宝、豊橋健康ランド、宴遊ランド・トータスの各店が足並みそろえて実現したもののだけに、「こうした大会は賞品よりも名誉に大きな魅力がある」(紺谷実行委員長)というところで話題を呼んでいる。

グランプリへの道は、まず前記の各店が六月から九月まで毎月一回、それぞれ「予選大会」を行って毎回六名を選び、予選を通過した二十四名による「選抜大会」を十月八日に、各店で行って決勝出場者五名を決める。こうして十一月二十

七日に岡崎健康ランドで開催される「決勝大会」に各店から送り出された代表の総勢三十名により競演されることになる。

優勝、準優勝、第三位には日本サウナ協会から表彰状とトロフィーが贈られ副賞はペアで沖縄旅行が。このほか協賛会社から各賞が贈られる。

★東洋健康ランド・岐阜店

多くの方が参加しやすいように

スだと喜んでいきます。客足は増えていきますね」という遅い午後七時からの開始は「なるべく大勢の方が参加しやすいように」と考慮した時間設定である。実際には四日市や稲沢など遠いところから来られる。「出場したいが間に合うか」といった問い合わせがよくある。舞台ではおなじみの光景が。歌う人も、声援する人も本当に楽しそうナムムードだ。紺谷さんは「頂点をきわめることも大事ですが、やはり、みんなが楽しい部分も大事なことですから、予選、決勝ともそうあってほしい」と願っている。



東洋健康ランド・岐阜店(岐阜市六条江東3)では七月九日夕方から始まった「月間予選大会」でひときり賑わった。今回の実行委員長でもある同店統括責任者の紺谷さんは「日本サウナ協会のビッグタイトルにお客さんの反応は上々のようです。従来からの店単位の大会に新しい企画として協会の大会が加わった形なので、好きな方はWチャン



写真上は東洋健康ランドの会場。下は七月の入賞者。右は各月入賞者の掲示版

★湯とぴあ宝

ビッグタイトルが魅力

湯とぴあ宝(名古屋市区南区前浜通り1)では七月十日午後三時から「予選大会」が始まった。司会者が出場者を次々と舞台へ案内し、一曲ごとにムードが高まっていく。

支配人の磯貝さんは「うちの従来からの大会と協会の大会を一本化して実施しています。ビッグタイトルに挑戦できるのが大きな魅力でしょう。新規のお客さんの参加もあります」と見ている。午後三時開始については「昼食後のひと休みといったほどよい時間帯です」と判断している。

また、こうした協会主催のカラオケ大会は「いろいろなイベントの中の一つと受け止めています。店にプラ

スになり、お客さんが喜ばれ、知名度が上がるなら結構なことですよ」ともいう。舞台では次々と自慢の歌が披露される。拍手を浴びて笑顔がこぼれる。磯貝さんは「聞いていて心がなごむ歌がいいですね。そんな人に賞をあげたい」と胸のうちで応援している。

ここで予選を通過した笑顔が舞台に並んだ。「選抜大会の日程は、改めてご案内します」と司会者。審査された作曲家の水野英機先生は「画面を見過ぎるとリズムに自分が負けてしまう」。作詞家の仲本憲笙先生は「上手な人はいるが、ゴルフのハンディと同じで、進歩するように採点している」とアドバイス。

写真は湯とぴあ宝の会場。下は七月の入賞者。



カプセルホテル・塩サウナ・ひのき風呂新設！ 7月6日 ウェルビー名駅店全面改装



名古屋駅前広がるメイストリートを南へすぐの有名レジャービル、メイテツレジャックの四階を占める「サウナウェルビー名駅店」(中村区名駅一丁目、大和観光グループ)が六月二十一日から「サウナ&カプセルホテル」名駅店」としてリニューアルオープン、なかなか好評である。従来の仮眠室を廃止してカプセルホテル百室を導入

し同時に全面的に改装したものの。サウナとカプセルとの組み合わせは、お客さんに好評であり、経営面でも相乗効果が大いなので、同社はこの形態を積極的に導入している。

カプセルホテルは明るくシックな雰囲気、廊下には絵画が飾られている。浴場の主な改装は、冷凍サウナのコーナーをいま人氣のある塩サウナに替え、



また純日本風のひのき風呂を設けた。これは浴槽はもろろん洗い場の床や壁の立ち上がり部分にもひのき

材を用いている。

浴場を出るとマッサージ室の前を通るので、この方のアピール効果もある。一方、仮眠室がない代わりにレストルームを豪華にゆったり仕上げている。

カプセル一泊はナ込

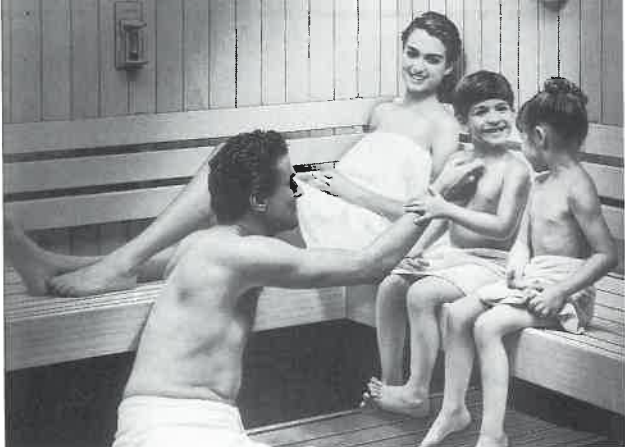
みで四千五百円。オフタイムの十二時〜十七時まで、お昼寝コースとしてサウナ二千五百円+カプセル五百円といったサービスもある。

※写真上はシックな雰囲気のカプセルホテル。下はゆったり豪華なレストルーム

metos SAUNA

日々新鮮。

暮らしの中にサウナ。



フレッシュな空気が体に欠かせないように、日々の生活にはいつも新鮮な出会いが必要です。暮らしの中にサウナがあれば、何かが変わる。何かが始まる。野趣があり、日々新鮮で快適。そんな気分を満たしてくれるのが本場フィンランドのメトスサウナです。

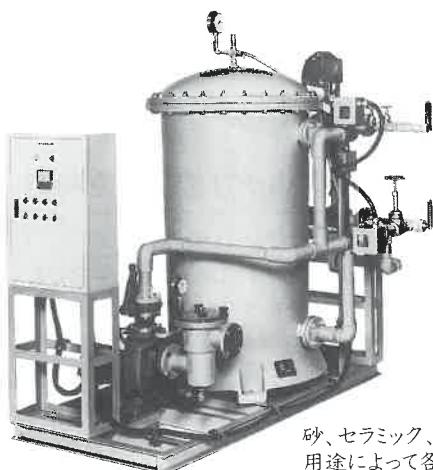
『水』改革。

リゾートやレジャー施設、スポーツ、健康施設、そして日常の生活にとって「水」はますます重要な役割を占めています。

メトス「活水」フィルターは性能、耐久性、経済性と三拍子そろった画期的な循環濾過機で、当社の長年にわたる研究開発と八〇〇〇台に及ぶ納入実績。これはお客様の確かな信頼の証しです。

—— 水は文化のパロメーター。

metos 活水フィルター



砂、セラミック、無煙炭、活性炭等用途によって各種濾材が選べます。